

日本アレルギー学会東北支部主催

第3回 日本アレルギー学会東北地方会

講演プログラム・抄録集

会 長

宮城県立こども病院 アレルギー科

三浦 克志

■一般演題	セッションI	9:05 ~ 9:50
	セッションII	9:50 ~ 10:36
	セッションIII	10:36 ~ 11:12
■会長企画教育セミナー		11:20 ~ 11:50
■ランチョンセミナー1		12:00 ~ 12:45
	ランチョンセミナー2	13:00 ~ 13:45
■教育講演1		14:00 ~ 14:30
	教育講演2	14:30 ~ 15:00
	教育講演3	15:00 ~ 15:30
	教育講演4	15:30 ~ 16:00

日 時：令和4年1月15日（土）

会 場：オンライン開催

参加費：3,000円（オンライン事前申込）

地方会事務局

東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1

TEL：022-717-8539 FAX：022-717-8549

E-mail：jsa-tohoku@rm.med.tohoku.ac.jp

参加者へのご案内

1. 開催形式

- (1) 会議システム Zoom を用いた WEB 開催になります。
- (2) 会期：2022 年 1 月 15 日（土）
- (3) ライブ配信のみとなり、後日のオンデマンド配信はございません。

2. 参加登録について

(1) 参加費

会 員	3,000 円
非会員	5,000 円
コメディカル	2,000 円
初期研修医・大学院生・学生	無料

(2) 参加登録期間

2021 年 11 月 16 日（月）正午～2022 年 1 月 14 日（金）15：00

※上記期間内に必ず登録をお願いいたします。

(3) 参加登録方法

- ・学会ウェブサイトからのオンライン登録のみとなります。
- ・参加費のお支払いはクレジットカード決済のみご利用可能です。
- ・カード決済の完了をもって、参加登録が完了となります。

3. WEB 視聴方法について

(1) 各セッションは、WEB 会議ツール「Zoom」を使用してライブ配信されます。

事前にインストールならびに機器のご準備が必要となります。

(2) Zoom は Windows、Mac に対応しております。サポートされている利用可能な機器（OS のバージョン等）をご確認ください。メーカーサポート中の OS、最新のブラウザ以外では Zoom が正常に作動しないことがありますのでご注意ください。詳細は Zoom 公式ホームページ（<https://zoom.us/>）をご覧ください。

(3) インターネットが安定して利用できる環境であれば、ご自身のパソコンを使用し、お好きな場所からご参加いただけます。

- ・有線 LAN 接続を強く推奨いたします。
- ・使用ブラウザは Google Chrome を推奨いたします。

(4) 参加登録時に設定した ID とパスワードで WEB 開催会場ページにログインしてご参加ください。

(5) WEB 視聴サイトの日程表から視聴したいセッションをお選びいただき、「視聴者用」ボタンからご入室ください。

セッションには開始 5 分前から入室いただけます。前のセッションの進行状況によっては開始までお待ちいただく場合がございますが、そのままお待ちください。

(6) ライブ配信セッションへの質問は、Zoom の Q&A 機能を使用し、質問を書き込んでください。マイクを使用しての質問はできません。

4. 領収証・参加証について

(1) 領収証は参加登録の支払い完了後、参加登録システムのマイページにログインいただければ、発行可能です。

(2) 参加証は会期当日より WEB 視聴サイトからダウンロード可能です。

(3) 参加証・領収証のダウンロードは 2022 年 1 月 31 日（月）までになります。期間を過ぎますとログインできなくなりますので、期間内に必ずダウンロードしてください。なお、紙媒体での発行、郵送は出来かねます。

5. 単位認定について

本会の参加により、以下の単位取得が可能です。

(1) 日本アレルギー学会専門医 認定・単位更新

参加：5 単位

座長・講師：3 単位

発表・筆頭：3 単位

(2) 日本小児臨床アレルギー学会認定 小児アレルギーエデュケーター単位

参加：5 単位

日本小児臨床アレルギー学会へ参加証をご提出ください

(3) 宮城県栄養士会 生涯教育制度

参加：自己研鑽 2 単位

宮城県栄養士会へ参加証をご提出ください

※単位認定方法についての詳細は各学会へお問い合わせください。

座長・演者へのご案内

1. 事前準備

- (1) 座長・演者は必ず、事前に参加登録を行ってください。
- (2) セッションへはWEB会議ツール「Zoom」を使用してください。
事前にインストールならびに機器のご準備が必要となります。
- (3) ZoomはWindows、Macに対応しております。サポートされている利用可能な機器（OSのバージョン等）をご確認ください。メーカーサポート中のOS、最新のブラウザ以外ではZoomが正常に作動しないことがありますのでご注意ください。詳細はZoom公式ホームページ (<https://zoom.us/>) をご覧ください。なお、WEB参加の際は、処理能力の高い機器(CPU:Core i5 2.6GHz、メモリー:8G)のご使用を推奨いたします。
- (4) インターネットが安定して利用できる環境であれば、ご自身のパソコンを使用し、お好きな場所からご参加いただけます。
 - ・有線LAN接続を強く推奨いたします。
 - ・使用ブラウザはGoogle Chromeを推奨いたします。
 - ・周辺雑音や他会話が聞こえることや電話がかかってきて中断することのない、発表やセッション進行の支障のない場所を確保してご参加ください。
- (5) スマートフォン、タブレットからのご参加はお控えください。
- (6) PC内蔵のマイク、スピーカーも使用可能ですが、ハウリングなど音声トラブルが発生しやすいため、WEB会議用のマイク、スピーカー、ヘッドセット（マイク付きヘッドフォンなど）のご使用を強く推奨いたします。
- (7) 一般演題の当日の発表は事前に音声入り動画ファイル（PowerPointファイルに音声を入れてMP4動画ファイルに変換したファイル）をご提出いただき、当日は事務局がZoom上で再生いたします。
- (8) 発表動画の再生終了後の質疑応答はZoom上にてライブで行っていただきます。
- (9) 教育講演はZoomの「画面共有」にてライブでご講演ください。

2. 当日の注意事項

- (1) 一般演題の発表時間は以下の通りです。
発表：7分 質疑応答：2分
- (2) ビデオ（カメラ）、マイクが使用できるか確認して下さい。
- (3) 使用していないアプリケーションは完全に終了して下さい。
- (4) ご自身の発言時以外は必ずマイクをミュートして下さい。
- (5) チャット機能は、座長・演者・主催者（ホスト）のみ使用できます。セッション中の連絡事項はチャットにてお知らせいたします。一般の視聴者はチャットの内容を見ることはできません。

3. 座長の先生方へ

- (1) ご担当セッション開始の30分前までに視聴サイト日程表ご担当セッションの「座長・演者用」ボタンから入室して下さい。
- (2) 入室後にお名前を「氏名（漢字）」に修正して下さい。
- (3) 入室後、事務局担当者からビデオ（カメラ）、マイクの確認と進行の説明があります。
※この時点では「練習セッション」ですので、一般の視聴者の入室はありません。
- (4) システム上で計時進行（タイムキープ）はできませんので、ご自身で時間を管理していただき、時間内に終了するようにご協力ください。
- (5) 演者がマイクのミュート解除を忘れている場合、ミュート解除のお声がけをお願いいたします。
- (6) 視聴者からの質問は、ZoomのQ&A機能を使用し、質問を書き込んでいただく形式となります。書き込みされた質問から座長裁量にて質問を選択いただき、代わりに演者へ質問をお願いします。
- (7) 事務局担当者からの説明終了後は、ビデオ（カメラ）をオフ、マイクをミュートしてそのままお待ちください。
- (8) 開始時間になりましたら、セッション開始のアナウンスが入ります。アナウンス後、ビデオ（カメラ）をオン、マイクのミュートを解除してセッションを進行して下さい。

4. 演者の先生方へ

- (1) ご担当セッション開始の30分前までに視聴サイト日程表ご担当セッションの「座長・演者用」ボタンから入室して下さい。
- (2) 入室後にお名前を「氏名（漢字）」に修正して下さい。
- (3) 入室後、事務局担当者からビデオ（カメラ）、マイクの確認と進行の説明があります。
※この時点では「練習セッション」ですので、一般の視聴者の入室はありません。
- (4) 事務局担当者からの説明終了後は、ビデオ（カメラ）をオフ、マイクをミュートしてそのままお待ちください。
- (5) 発表順になりましたら座長から紹介がございますので、ビデオ（カメラ）をオン、マイクのミュートを解除して、演者挨拶を行ってください。
- (6) 演者挨拶後、「スライドをお願いします」とお声がけください。事務局で発表スライド（発表動画データ）を再生いたします。
- (7) 質疑応答は座長の進行に従って進めてください。
- (8) システム上で計時進行（タイムキープ）はできませんので、ご自身で時間の管理をお願いいたします。

第3回 日本アレルギー学会 日程表（オンライン開催）

9:00	<p>9:00 - 9:05 開会の辞 三浦 克志</p> <p>9:05-9:50</p> <p>一般演題Ⅰ 小児科・皮膚科 座長：森川 みき、高橋 隼也</p>
10:00	<p>9:50-10:36</p> <p>一般演題Ⅱ 内科1・基礎 座長：長島 広相</p>
11:00	<p>10:36-11:12</p> <p>一般演題Ⅲ 内科2 座長：佐藤 一洋</p>
	<p>休憩</p>
	<p>11:20-11:50</p> <p>会長企画教育セミナー 医師の働き方改革と男女共同参画～日本アレルギー学会東北地方会に寄せて～ 座長：三浦 克志 演者：黒澤 一</p>
	<p>休憩</p>
12:00	<p>12:00-12:45</p> <p>ランチョンセミナー 1 重症喘息における好酸球の役割と治療戦略 座長：杉浦 久敏 演者：高橋 浩一郎 共催：アストラゼネカ株式会社</p>
	<p>休憩</p>
13:00	<p>13:00-13:45</p> <p>ランチョンセミナー 2 アトピー性皮膚炎治療 up date ～ウパダシチニブへの期待と課題～ 座長：三浦 克志 演者：井川 健 共催：アツヴィ合同会社</p>
	<p>休憩</p>
14:00	<p>14:00-14:30</p> <p>教育講演Ⅰ 皮膚科 好中球と血管炎そしてベーチェット病 座長：山崎 研志 演者：川上 民裕</p>
	<p>14:30-15:00</p> <p>教育講演Ⅱ 小児科 食物アレルギー最近のトピックス 座長：森川 みき 演者：三浦 克志</p>
15:00	<p>15:00-15:30</p> <p>教育講演Ⅲ 内科 好酸球の一生と疾患 座長：中山 勝敏 演者：植木 重治</p>
	<p>15:30-16:00</p> <p>教育講演Ⅳ 耳鼻科 アレルギーと腸内細菌：抗原感作を中心に 座長：太田 伸男 演者：松原 篤</p>
16:00	

< プログラム >

プログラム

開会の辞 9:00～9:05 三浦 克志 宮城県立こども病院 アレルギー科 科長

一般演題Ⅰ 小児科・皮膚科

9:05～9:50

座長：森川 みき 森川小児科アレルギー科クリニック
高橋 隼也 東北大学病院皮膚科

- I-1 再発する咳嗽と無気肺に対しマクロライド系抗生剤が著効した2症例～これも喘息？～
渡邊 庸平 仙台医療センター小児科
- I-2 マカダミアナッツオイル含有リップクリームを口唇塗布後にアナフィラキシーを呈した1例
宇根岡 慧 宮城県立こども病院アレルギー科
- I-3 ヤマイモ特異的IgEと加熱ヤマイモによる症状誘発の検討
佐々木 朋子 国立病院機構 盛岡医療センター
- I-4 当科におけるアトピー性皮膚炎患者に対するデュピルマブ使用例のまとめ
天貝 まゆ子 東北大学 皮膚科
- I-5 クロピドグレルによる湿疹型薬疹
高橋 一夫 東北医科薬科大学皮膚科

一般演題Ⅱ 内科1・基礎

9:50～10:36

座長：長島 広相 岩手医科大学内科学講座呼吸器内科分野

- II-1 COVID-19 ワクチン接種後に末梢血好酸球増多と間質性肺炎を呈した一例
鈴木 眞奈美 東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 呼吸器内科学分野
- II-2 好酸球性副鼻腔炎患者の末梢血より採取した樹状細胞とT細胞の免疫学的特徴の解析
宮坂 智充 東北医科薬科大学薬学部病態生理学
- II-3 好酸球性肺炎治療後に好酸球性蜂窩織炎を発症したHESと考えられる1例
久米 裕昭 福島県立医科大学会津医療センター 感染症・呼吸器内科
- II-4 大学生のアレルギー疾患の推移 ー過去10年間の健康調査からー
高梨 信吾 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

一般演題Ⅲ 内科2

10:36～11:12

座長：佐藤 一洋 秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座

- III-1 メポリズマブにて良好なコントロールが得られた重症喘息の1例
糸賀 正道 弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科・感染症科/検査部
- III-2 難治性喘息に合併した慢性好酸球性肺炎にベンラリズムマブが奏功した症例
力丸 真美 福島県立医科大学呼吸器内科学講座
- III-3 喘息症状に伴うストレスが誘因となった過緊張による発赤・呼吸苦が麻酔薬アレルギーと診断された一例
菅井 万優 岩手医科大学医学部呼吸器内科
- III-4 吸入指導依頼票を用いた吸入指導の検討
佐藤 建人 山形大学医学部附属病院 第一内科

会長企画教育セミナー

11:20～11:50

座長：三浦 克志 宮城県立こども病院 アレルギー科 科長

医師の働き方改革と男女共同参画～日本アレルギー学会東北地方会に寄せて～

黒澤 一 東北大学 環境・安全推進センター 教授

ランチョンセミナー1

12:00～12:45

座長：杉浦 久敏 東北大学院医学系研究科 内科病態学講座 呼吸器内科学分野 教授

重症喘息における好酸球の役割と治療戦略

高橋 浩一郎 佐賀大学医学部附属病院 呼吸器内科 講師

共催：アストラゼネカ株式会社

ランチョンセミナー2

13:00～13:45

座長：三浦 克志 宮城県立こども病院 アレルギー科 科長

アトピー性皮膚炎治療 up date～ウパダシチニブへの期待と課題～

井川 健 獨協医科大学医学部 皮膚科学講座 主任教授

共催：アヴィ合同会社

教育講演1 皮膚科

14:00～14:30

座長：山崎 研志 東北大学大学院医学系研究科 皮膚科学分野 特命教授

好中球と血管炎そしてベーチェット病

川上 民裕 東北医科薬科大学医学部 皮膚科学教室 主任教授

教育講演2 小児科

14:30～15:00

座長：森川 みき 森川小児科アレルギー科クリニック

食物アレルギー最近のトピックス

三浦 克志 宮城県立こども病院 アレルギー科 科長

教育講演3 内科

15:00～15:30

座長：中山 勝敏 秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座 教授

好酸球の一生と疾患

植木 重治 秋田大学 総合診療・検査診断学講座 教授

教育講演4 耳鼻科

15:30～16:00

座長：太田 伸男 東北医科薬科大学医学部 耳鼻咽喉科学 教授

アレルギーと腸内細菌：抗原感作を中心に

松原 篤 弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座 教授

< 抄 録 集 >

一般演題 I 小児科・皮膚科 9:05～9:50

座長：森川小児科アレルギー科クリニック 森川 みき
東北大学病院皮膚科 高橋 隼也

I-1 再発する咳嗽と無気肺に対しマクロライド系抗生剤が著効した2症例 ～これも喘息？～

仙台医療センター小児科

○渡邊 庸平, 酒井 秀行, 久間木 悟

今回我々は無気肺を伴う喘鳴により入退院や外来通院を繰り返し、マクロライド系抗生剤により症状が軽快した2症例を経験した。その内の1例は、9回の入院歴があったがクラリスロマイシン開始後は1回だけとなった。両者とも明らかな基礎疾患の存在は否定的であったが、両者に共通するのは無気肺や咳嗽出現時の好中球増多であった。これまで報告された好中球性喘息との比較とマクロライド系抗生剤の抗炎症作用について考察したい。

I-2 マカダミアナッツオイル含有リップクリームを口唇塗布後に アナフィラキシーを呈した1例

宮城県立こども病院アレルギー科¹⁾, みやぎ県南中核病院小児科²⁾

○宇根岡 慧, 二瓶 真人^{1,2)}, 秋 はるか¹⁾, 堀野 智史¹⁾, 三浦 克志¹⁾

マカダミアナッツ摂取でアナフィラキシー (An) の既往がある13歳女児。マカダミアナッツオイル含有リップクリームを塗布後、口唇腫脹、咳嗽、呼吸苦を認めAnを呈した。マカダミアナッツによるprick to prick testは陽性であり、リップクリームでのAnはマカダミアナッツが原因と診断した。マカダミアナッツアレルギー患者は化粧品等、マカダミアナッツオイル含有製品に注意する必要がある。

I-3 ヤマイモ特異的 IgE と加熱ヤマイモによる症状誘発の検討

国立病院機構 盛岡医療センター 小児科¹⁾,
子どもは未来もりおかこどもクリニック 小児科²⁾,
国立病院機構 盛岡医療センター 栄養部³⁾
○佐々木朋子¹⁾, 佐々木美香¹⁾, 米沢 俊一²⁾, 村里 智子³⁾

【目的】特異的 IgE が加熱ヤマイモによる症状誘発の予測として有用か検討した。【対象と方法】過去4年間に加熱ヤマイモ経口負荷試験を行った15例（中央値4歳）を対象に後方視的に検討した。【結果】特異的 IgE 陽性15例中、誘発症状を2例に認めた。陰性例に負荷試験後、除去解除したが症状は出現していない。【考察】特異的抗体だけでは誘発症状の予測はできず、負荷試験で必要最小限の除去を指導することが必要である。

I-4 当科におけるアトピー性皮膚炎患者に対するデュピルマブ使用例のまとめ

東北大学 皮膚科
○天貝まゆ子, 高橋 隼也, 千葉 広夢, 赤井 紗彩, 遊佐 志乃, 神林 由美, 小澤 麻紀, 山崎 研志

デュピルマブは抗 IL-4 受容体 α サブユニットに対する抗体製剤で、他疾患に先駆けアトピー性皮膚炎 (AD) に保険適応となった。そこで当科でデュピルマブの投与を16週以上継続したAD患者37例について、皮疹やそう痒への効果、副作用を調べた。投与開始から16週時点で Eczema Area and Severity Index (EASI) が75%以上改善したのは64.9% (24/37) であった。副作用による中止は5.4% (2/37) にとどまり、デュピルマブのADに対する有効性、安全性があらためて示された。

I-5 クロピドグレルによる湿疹型薬疹

東北医科薬科大学皮膚科
○高橋 一夫, 横山 華英, 池田 高治, 川上 民裕

82歳男。20XX年5月頃より下肢、臀部にそう痒性皮疹が出現。近医で加療するもそう痒増強。同年10月初診。貨幣状湿疹と診断し加療するも徐々に増悪。逐次内臓悪性腫瘍の精査、金属貼付テスト、皮膚病理学的検討する中で、TARCが1年半の経過で365→862→3132pg/mLと上昇、D-LSTはクロピドグレルで陽性 (SI=2.9)。同剤の中止で皮疹そう痒共に軽快。湿疹型薬疹はまれであるが、難治な慢性皮膚疾患をみた時には念頭に置くべきと考える。

一般演題Ⅱ 内科 1・基礎 9:50～10:36

座長：岩手医科大学内科学講座呼吸器内科分野 長島 広相

Ⅱ-1 COVID-19 ワクチン接種後に末梢血好酸球増多と間質性肺炎を呈した一例

東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 呼吸器内科学分野

○鈴木眞奈美, 京極 自彦, 藤野 直也, 今野 周一, 杉山 初美, 突田 容子, 相澤 洋之, 市川 朋宏, 山田 充啓, 小荒井 晃, 玉田 勉, 杉浦 久敏

症例は65歳男性。重症喘息で通院中、X-2月にCOVID-19（中等症Ⅱ）を発症し治療により軽快していた。X月、初回COVID-19ワクチン接種3日後、呼吸困難を主訴に受診した。呼吸不全、末梢血好酸球増加、両肺すりガラス陰影を認めプレドニゾロン（60 mg/日）を開始し速やかに改善した。COVID-19既往の重症喘息ではワクチンにより好酸球増多を伴う間質性肺炎を発症する可能性があり注意を要する。

Ⅱ-2 好酸球性副鼻腔炎患者の末梢血より採取した樹状細胞とT細胞の免疫学的特徴の解析

東北医科薬科大学薬学部病態生理学¹⁾、東北医科薬科大学医学部耳鼻咽喉科²⁾、

東北医科薬科大学医学部医学教育推進センター³⁾

○宮坂 智充¹⁾、川上 佳織¹⁾、太田 伸男²⁾、増田（鈴木）千愛¹⁾、舘田 豊¹⁾、草野 佑典²⁾、東海林 史²⁾、北谷 栞²⁾、中村 豊³⁾、有川 智博³⁾、河野 資¹⁾、高柳 元明¹⁾、高橋 知子¹⁾、大野 勲³⁾

好酸球性副鼻腔炎（ECRS）の病態形成に關与する免疫細胞の特徴は解明されていない。本研究では、末梢血中T細胞や樹状細胞のフェノタイプを解析した。ECRS患者は健常者と比較して、IL-4、IFN- γ 、Foxp3のうち複数を発現するCD4+T細胞やIL-4+CD8+T細胞、Th2指向性PD-L1+樹状細胞の割合が増加していた。これらの免疫学的変化は、ECRSの病態形成に關与している可能性が示唆された。

II -3 好酸球性肺炎治療後に好酸球性蜂窩織炎を発症した HES と考えられる 1 例

福島県立医科大学会津医療センター 感染症・呼吸器内科

○久米 裕昭, 富田ひかる, 福原 敦朗

68 歳男. 抗生剤投与後に両側肺野にスリガラス状陰影と両側胸水が出現し急性呼吸不全となった. 末梢血好酸球数増多があり急性好酸球性肺炎と判断しステロイド療法を開始した. プレドニゾロン漸減中に, 好酸球性肺炎の再燃に続いて左前腕に発赤, 腫脹が出現し皮膚生検で好酸球性蜂窩織炎と診断した. この症例は, アトピー体質があり, 好酸球性肺炎, 好酸球性蜂窩織炎を連続性に生じる稀な経過をたどった HES と考えられる.

II -4 大学生のアレルギー疾患の推移 —過去 10 年間の健康調査から—

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター / 内科¹⁾, 弘前大学保健管理センター²⁾,

弘前大学医学部附属病院 / 呼吸器内科³⁾

○高梨 信吾^{1,2,3)}, 工藤 誓子²⁾, 嘉山 恵²⁾, 糸賀 正道³⁾

2011 年より 10 年間 13831 名の大学生を対象に, 健康調査票からアレルギー疾患の有症率を検討した. 気管支喘息: 男性 2.6-3.9%, 女性 1.5-3.3%, 変動なし. 既往者の約 80%は寛解. アレルギー性鼻炎: 男性 40.7-48.5%, 女性 33.0-39.7%で変動なく約 15%が寛解. アトピー性皮膚炎: 男性 6.7-13.7%, 女性 6.0-11.4%で変動なく約 50%は寛解. 食物アレルギー: 男性 3.4-9.4%, 女性 4.0-7.1%で増加傾向. 30-40%は寛解.

一般演題Ⅲ 内科 2 10:36～11:12

座長：秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座 佐藤 一洋

Ⅲ-1 メポリズマブにて良好なコントロールが得られた重症喘息の1例

弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科・感染症科¹⁾，弘前大学医学部附属病院 検査部²⁾

○糸賀 正道^{1,2)}，田辺 千織¹⁾，小田切 遥¹⁾，福島 高志¹⁾，鈴木 幸雄¹⁾，
土橋 雅樹¹⁾，石岡 佳子¹⁾，牧口 友紀¹⁾，田中 寿志¹⁾，當麻 景章¹⁾，田坂 定智¹⁾

57歳女性。喘息発症は28歳頃であった。30歳時に当科受診され、吸入療法・経口ステロイドにて加療開始。36歳時に好酸球性中耳炎を発症し、喘息コントロール不良となった。好酸球高値であり51歳時よりメポリズマブ開始し、症状は改善し経口ステロイドを漸減できた。その後ベンラリズマブ・デュピルマブに変更するも、症状悪化がありメポリズマブに戻した。生物学的製剤の選択は、症例毎に十分検討する必要がある。

Ⅲ-2 難治性喘息に合併した慢性好酸球性肺炎にベンラリズマブが奏功した症例

福島県立医科大学呼吸器内科学講座

○力丸 真美，斎藤 純平，福原 敦朗，二階堂雄文，鈴木 康仁，谷野 功典，
柴田 陽光

48歳女性。喘息で加療中、X-4年に好酸球性肺炎を発症しプレドニゾロン（PSL）30mg/日による加療を開始したが、漸減し5mg/日以下になると好酸球性肺炎の再燃を繰り返した。その後喘息急性増悪で入院した。難治性喘息と診断しX-2年よりベンラリズマブ投与を開始したところ、症状や画像所見も改善しPSLも中止することができた。喘息に合併した慢性好酸球性肺炎にもベンラリズマブが奏功した症例と考えられた。

Ⅲ-3 喘息症状に伴うストレスが誘因となった過緊張による発赤・呼吸苦が麻酔薬アレルギーと診断された一例

岩手医科大学医学部呼吸器内科¹⁾，岩手県立中部病院呼吸器内科²⁾，
岩手県立中央病院呼吸器内科³⁾

○菅井 万優¹⁾，長島 広相¹⁾，大浦慎之助¹⁾，松本 あみ¹⁾，堀井 洋祐²⁾，伊藤 貴司¹⁾，
千葉 亮祐³⁾，内海 裕¹⁾，前門戸 任¹⁾

33歳女性。齲歯治療に使用した麻酔薬で発疹，呼吸困難が出現し麻酔薬アレルギーが疑われた。当科で使用した吸入薬でも同様の症状が出現。症状出現までの時間が短いことから過緊張による症状と判断。普段から咳嗽，呼吸困難がありストレスとなっていた。喘息治療介入により麻酔薬は使用可能となり，喘息症状によるストレスが今回の症状の誘因となっていると考えられた。示唆に富む症例と思われ若干の文献的考察を加えて報告する。

Ⅲ-4 吸入指導依頼票を用いた吸入指導の検討

山形大学医学部附属病院 第一内科

○佐藤 建人，花輪 翁有，宮崎 収，石橋 悠，邨野 浩義，峯岸 幸博，佐藤 正道，
根本 貴子，西脇 道子，山内 啓子，五十嵐 朗，井上 純人，渡辺 昌文

吸入療法は気管支喘息や COPD の治療に重要である。吸入手技のエラーはコントロール不良の一因となるため，適切な手技の習得が求められる。当院では吸入指導依頼票を用いることで，調剤薬局との情報共有，吸入手技の指導の一元化をはかっている。この試みを通して吸入治療における注意点について検討した。吸入薬を新規導入した高齢者では，「息吐き」や「息止め」の評価が低く，このことを念頭に置いた指導が必要と考えられた。

協賛企業

共 催

アストラゼネカ株式会社

アッヴィ合同会社

広 告

アッヴィ合同会社

ヴィアトリス製薬株式会社

エーザイ株式会社

杏林製薬株式会社

チェスト株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

ノバルティスファーマ株式会社

株式会社フィリップス・ジャパン

マルホ株式会社

(50 音順)



7.5mg薬価基準収載/15mg薬価基準収載

30mg薬価基準未収載

ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤



リンヴォック錠[®] 30mg
15mg
7.5mg

ウパダシチニブ水和物錠

RINVOQ

劇薬 処方箋医薬品[※]

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること



- 効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書を参照してください。

製造販売元

アッヴィ合同会社

東京都港区芝浦3-1-21

2021年9月作成

JP-RNQD-210009-2.0

(文献請求先及び問い合わせ先)
くすり相談室
フリーダイヤル 0120-587-874

abbvie

EPIPEN®



アナフィラキシー補助治療剤 薬価基準収載

アドレナリン注射液

エピペン® 注射液 **0.15mg**

日本薬局方 アドレナリン注射液

エピペン® 注射液 **0.3mg**

劇薬、処方箋医薬品（注意-医師等の処方箋により使用すること）



**薬価基準
収載**

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」及び「用法・用量に関連する使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 **マイランEPD合同会社**

東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

〔エピペン専用フリーダイヤル〕エピペンカスタマーサポートセンター 0120-303-347



Mylan is a Viatris group company

NIOX VERO[®]

喘息などの好酸球性気道炎症の 評価とモニタリングに

喘息などの好酸球性気道炎症のバイオマーカーとして、
呼気中に含まれる一酸化窒素の濃度 (FeNO) を測定します。



一酸化窒素ガス分析装置
ナイオックス ベロ
NIOX VERO[®]
Manufactured by Circassia AB

仕様

測定範囲：5 ~ 300 ppb
測定精度：±5ppbまたは±10%、いずれか大きい方
使用期限：15,000回または5年、いずれか早い方
*測定時にエラーになった場合は、カウントされません。

オプション

センサーキット：100回、300回、500回、1,000回測定用

特長

- カラー液晶モニターとバッテリーを搭載し、電源の取れない場所でも検査が可能
※フル充電の状態、約30回の測定が可能
- 呼気流量の調節を補助するアニメーション機能
- 小児でも片手で持てる約150gの呼吸ハンドル
- 60回測定キットを付属
- キャリブレーション不要



■液晶モニターでアニメーションを見ながら測定できます。

※喘息の診断時には、NO測定だけでなく既存の呼吸機能診断を必ず実施して診断してください。



先進の医療機器で健やかな呼吸をサポート

チェスト株式会社

本社/〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-11

仙台営業所/〒984-0013 宮城県仙台市若林区六丁の目南町4-50

ホームページ <https://www.chest-mi.co.jp>

TEL.(03) 3813-7200 (代)

TEL.(022) 385-6411 (代)

営業所 / 札幌・秋田・仙台・新潟・さいたま・東京・西東京・横浜・名古屋・金沢・大阪・広島・松山・福岡・長崎・大分



3成分配合喘息治療剤

エナジア[®] 吸入用カプセル

中用量・高用量

ENERZAIR[®] インタカテロール酢酸塩／グリコピロニウム臭化物／
モメタゾンフランカルボン酸エステル吸入用カプセル
inhalation capsules

処方箋医薬品 注意一医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

喘息治療配合剤

アテキュラ[®] 吸入用カプセル

低用量・中用量・高用量

ATECTURA[®] インタカテロール酢酸塩／
モメタゾンフランカルボン酸エステル吸入用カプセル
inhalation capsules

処方箋医薬品 注意一医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売 (文献請求先及び問い合わせ先)

ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

ノバルティス ダイレクト 販売情報提供活動に関するご意見
TEL: 0120-003-293 TEL: 0120-907-026
受付時間: 月～金 9:00～17:30 (祝日及び当社休日を除く)

ENZ00003IH0003
2021年6月作成



患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



持続性選択 H₁ 受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤

処方箋医薬品[※]
デスロラタジン錠

薬価基準収載

デザレックス[®]錠 5mg

Desalex[®] Tablets 5mg

(注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の
注意等については添付文書をご参照ください。

発売元

杏林製薬株式会社

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
(文献請求先及び問い合わせ先: ずり情報センター)

プロモーション提携

科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込2丁目28-8
(文献請求先及び問い合わせ先: 医薬品情報サービス)

製造販売元

オルガノン株式会社

東京都港区南青山1-24-3

作成年月: 2021.6



COPD治療配合剤

スピオルト[®] レスピマツ[®]
28吸入/60吸入

チオトロピウム臭化物水和物/オロダテロール塩酸塩製剤 **SPIOLTO[®]**
RESPIMAT[®]

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

製造販売元（輸入発売元）

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

東京都品川区大崎2丁目1番1号

資料請求先：DIセンター

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

2019年2月作成

maruho

Excellence in Dermatology

皮膚科学領域での卓越した貢献を

マルホ株式会社 <https://www.maruho.co.jp/>



PHILIPS

Healthcare

安心・快適な毎日をサポートする フィリップスのソリューション

機器の設置から緊急時まできめ細やかなアフターサービスの提供を通じて、在宅酸素療法 (HOT) 患者さんのQOL向上をサポートします。
There's always a way to make life better.

innovation  you

シンプリーゴーミニ
オキシジェンステーション 5L
酸素濃縮装置



携帯型 シンプリーゴーミニ



設置型 オキシジェンステーション 5L

株式会社フィリップス・ジャパン

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル www.philips.co.jp/healthcare
睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の事業所まで
仙台支店 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル3階 Tel.022-208-5853
記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。 © 2019 Philips Japan, Ltd.

販売名：シンプリーゴーミニ
医療機器承認番号：22800BZX00434000
製造販売業者：株式会社フィリップス・ジャパン
販売名：オキシジェンステーション 5L
医療機器承認番号：229AHBZX000080000
製造販売業者：ダイキン工業株式会社